

果たしている役割・機能

- 環境上及び経済的な理由により在宅生活が困難な高齢者の養護
- 高齢者の自立した日常生活、社会的活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の援助の実施

対策の優先順位の考え方

- ① 現在の千寿荘の代替施設を整備する場合、民設民営もしくは公設民営による運営方法への移行を検討
- ② 徳風園への機能集約（増床）の検討
- ③ 今後も市として施設の維持管理を担う徳風園については、日常的な点検に基づく計画的な予防保全に取り組む

対策の方向性

- 長期的な視点から、将来的に必要な床数を推計
- 新施設整備方針を令和6年度中に決定
- 民間活力活用の観点から、養護老人ホームの民営が可能な唯一の法人格である社会福祉法人との対話により、整備方法の具体化を模索
- 徳風園については、千寿荘のあり方検討の方向性を踏まえつつ、必要な計画を整理する

地区	施設名 【建築年】	主たる建物の 耐震基準	方向性	内容	短期		中期					長期	
					R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13~	
平	徳風園 【2004年】	新	長寿命化	検討内容									
			目標使用 年数 80年	対策内容	千寿荘のあり方の方向性を踏まえつつ、必要な整備計画を整理								
				対策費用概算									
勿来	千寿荘 【1981年】	旧	現施設 廃止	検討内容	整備計画 策定							現施設 供用廃止 ・機能移転	現施設 解体
			機能移転	対策内容	整備計画に応じた整備支援（民設民営の場合） 又は 施設整備（公設民営又は徳風園増床の場合）								
				対策費用概算								16,523千円	110,151千円